

広島市長 秋葉忠利様

新型インフルエンザ対策についての緊急申し入れ

2009年11月20日

日本共産党広島市議会議員団

団長 中森辰一

新型インフルエンザの予防接種の本格的実施を前にして、広島市における感染拡大と重傷者の発生を防止するために、以下の対策を実施されるよう緊急に申し入れます。

記

1. ワクチン接種の自己負担について、市独自の助成を設けること。

マスコミ情報によると、県下14市9町のうち、10市8町が子どもへのワクチン接種に独自の助成を実施しているか、検討している。

ワクチン接種は命を守るために行われるものである。それが、負担に耐えられるか耐えられないかで左右されてはならないのは当然である。

広島市でも最低限の課題として、子どもが接種を受ける際の負担軽減のため、独自の助成を行うべきである。

また、すでに優先接種中の基礎疾患がある方の中からは、年金生活では6千円の負担は重いとの声が出ている。市民税非課税世帯は無料としているが、市民税非課税の所得水準は生活保護基準より低い場合が多く、この基準では不十分である。負担のために接種をためらうことのないようにすべきである。以上、早急に検討すること。

2. 各接種対象者へのワクチン接種の周知徹底を重視して、漏れのないようにすること。

3. 毎日多くの患者の診療を行っている診療所などの現場で、大勢の発症していない人の予防接種を行うのは困難であるとの意見がある。地域医療機関の意見を早急に聴取し、必要なら学校保健室での集団接種を検討されるとともに、保健所や保健センターで集団接種できるよう早急に取り組むこと。

4. 低年齢層への流行が広がる傾向を踏まえ、保育士や教職員等、日常的に子供と接する職員は、優先対象者として扱うこと。

5. 学校、保育所等に、新型インフルエンザ対応マニュアルを配布し、体温計、マスク等、対応に必要な機材は十分な数量を応急的に配布すること。